

教育委員会の所管事務に係る 自己点検・評価報告書

〔令和2年度事業分〕

令和3年9月

南島原市教育委員会

目 次

(頁)

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について (1)

学識経験者の所見 (3)

自己点検・評価 (11)

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務 (12)

1 教育委員会及び教育委員の活動 (12)

- (1) 教育委員会会議の運営及び情報発信
- (2) 教育委員と事務局との連携
- (3) 教育委員会と市との連携
- (4) 教育機関等との連携
- (5) 教育委員の研修等

2 教育委員会が管理又は執行する事務(教育長に委任できない事務) . . . (14)

- (1) 教育行政運営に関する一般方針の決定
- (2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定
- (3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申
- (4) 教育次長、課長及びその他の教育機関(小学校及び中学校を除く)の長の任免
- (5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定
- (6) 教育委員会規則の制定又は改廃
- (7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見
- (8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱
- (9) 教科用図書採択に関する基本方針の決定
- (10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定
- (11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定
- (12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務) . . . (16)

1 教育環境の充実に関する事務 (16)

- (1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事
- (2) 小・中学校の整備改修
- (3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

2 学校教育の推進に関する事務 (19)

- (1) 新入学児童支援事業 (教育支援委員会)
- (2) 特別支援教育推進事業 (特別支援教育助手の配置)
- (3) 子どもの悩み相談事業 (心の教室相談員の配置)
- (4) 学校支援員配置事業
- (5) 市教職員研修「あかつき」
- (6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展
- (7) 人間教育研究指定小学校事業
- (8) 人間教育研究指定中学校事業
- (9) 総合学習事業 (小学校)
- (10) 総合学習事業 (中学校)
- (11) 語学指導外国青年招致事業 (外国語指導助手等の配置)
- (12) 学校給食関連設備整備事業
- (13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業
- (14) ICT機器の整備
- (15) 中体連補助事業

3 社会教育の推進に関する事務 (24)

- (1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動
- (2) 家庭教育支援の充実
- (3) 地域教育力の充実
- (4) 芸術文化の振興
- (5) 読書活動の推進

4 スポーツの振興に関する事務 (30)

- (1) スポーツイベントの開催
- (2) スポーツ団体との連携

5 文化財の保護活用に関する事務 (32)

- (1) 資料館等の維持・管理
- (2) 指定文化財の保護・管理
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査
- (4) 文化財保護審議会
- (5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

6 世界遺産推進に関する事務 (35)

- (1) 世界遺産の価値に関する適切な情報提供
- (2) 世界遺産アクションプランに基づく取組の展開

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成の仕方について

- 1 教育委員会の所管事務について、項目ごとに、点検・評価のコメント及び活動内容について記載しました。

また、項目ごとに、達成度と評価を記載しました。

なお、達成度において、新型コロナウイルス感染症のため実施できなかった事業は、未実施としています。

【達成度】

達成	達成率 100%以上
概ね達成	達成率 80%～99%
未達成	達成率 80%未満
未実施	新型コロナウイルス感染症のため未実施

【評価】

継続	今後も対象範囲や条件等を変えずに予定どおり（計画どおり）実施するもの
拡充	今後、対象範囲や条件、規模等を拡大・追加して実施するもの
縮小	今後、対象範囲や条件、規模等を縮小して実施
改善	規模や対象等の変更を伴わず、事務手法等を改善する
統合	事業の再編や事務の簡素化等のため別の事業に統合する
完了・廃止	事業の完成などにより事業を終了するもの

- 2 回数、人数等、令和2年度の数値（実績）が前年度と比較できるものについては、〔 〕書きで、平成31年度（令和元年度）の数値を掲載しました。
- 3 南島原市教育振興基本計画の指標（数値目標）があるものについては、【指標】で令和4年度（平成34年度）までの目標指数を記載しました。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

本市教育委員会においては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定によりまして、昨年度（令和2年度）の所管事務について、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。また、点検及び評価を行うに当たって学識経験者の知見の活用については、お二人にそれぞれ所見をいただきました。

自己点検及び評価に当たっては、客観的な視点に立って実施しました。その結果、特筆すべき事項として次の点が挙げられます。

教育委員会の活動においては、ホームページによる詳細な会議録を毎回公開し、積極的な情報発信を行いました。さらに、総合教育会議を通じての活発な意見交換と学校訪問や研究発表会への参加により、市や学校との連携を図りました。

学校施設整備においては、老朽化施設を中心に改修整備を行いました。耐震化については、平成26年度に完了しましたが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、非構造部材耐震化改修工事に着手しております。今後は、全ての学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めてまいります。また、近年の地球温暖化による気温上昇に対応するため、小学校5校と中学校8校の音楽室、理科室及び家庭科室を基本とした3つの特別教室への空調設備の整備を行いました。今後は、南島原市内学校施設の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減、予算の平準化及び学校施設に求められる機能・性能を確保するため策定した、「南島原市学校施設長寿命化計画」（令和元年度～令和38年度）に沿って、計画的な整備改修を進めてまいります。

学校教育においては、確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育む教育の推進に努めました。学校数は、南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画に基づく小学校の統合及び分校の併合により、小学校15校（うち分校2校）と中学校8校となりましたが、教職員の負担を軽減し、個々の児童生徒にきめ細やかな対応ができるよう、必要に応じて相当数の学校支援員等を配置しました。また、教職員のスキルアップを図るための教職員研修「あかつき」の実施や計画的な学校訪問等を実施し、学校力の向上を目指しました。その他、生きるための学力と人間力の向上を狙った研究指定や、就学・教育支援、子どもの悩み相談事業等を展開するとともに、総合学習事業により、各学校の横断的、総合的な学習を支援しました。新学校給食センターについては、建築工事に着手し、本年2学期から給食の提供を開始しております。今後も、各事業を効果的・継続的に推進してまいります。

社会教育の推進においては、新型コロナウイルス感染症のため、市民の安心、安全を第一に考え、放課後子ども教室「寺子屋21」や通学合宿事業などの青少年教育事業をはじめ、子どもリーダー研修などの子ども会育成事業や芸術文化振興のコンサートや講演会の開催、セミナーヨ現代版画展やアートビレッジ・シラキノ事業を中止といたしました。県内及び市内の感染症の状況により判断を行い、新しい生活様式を徹底したうえで、南島原市保護者支援士養成講座や親子体験型家庭教育学級、親育ち講座などの家庭教育支援に関わる地域人材の養成や乳幼

児を持つ親の学習機会の充実に取り組みました。各地区の公民館事業においても、新しい生活様式を徹底したうえで、各種講座を実施し、学びの場を提供しました。また、感染症対策として、市内社会教育施設20施設に受付用パーテーションや空気循環式紫外線清浄機を設置し、4施設の空調設備の整備を行いました。図書館事業では、6図書館2図書室の恵まれた環境を生かし、ステイホーム時の読書の利用推進に取り組みました。今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、社会教育施設等における人生各期における学びの機会の充実と学びの成果を地域に還元できる持続可能な人材の育成に努めてまいります。

スポーツの振興においては、新型コロナウイルス感染症のため、南向きファミリー元気フェスタや口加駅伝競走大会等のイベントを中止といたしました。また、県内外から多数の参加申し込みをいただき、第30回の記念大会として計画していた「原城マラソン大会」は1年延期といたしました。そのような中で、子ども達を対象とした「マリンスポーツ教室」は、新型コロナウイルス感染症対策及び新しい生活様式を徹底したうえで開催し、本市の自然環境を活かした郷土愛の醸成を図りました。総合型地域スポーツクラブとの協働事業「ひまわりキャラバン」につきましては、3年間で収集し分析したデータをもとに指導プログラムを構築し、今後、導入に向けたプランニングを行い子ども達の体力向上に努めてまいります。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況により判断を行い、新しい生活様式を徹底したうえで、市民の健康増進とスポーツ競技力の向上及びスポーツによる交流人口の拡大を図り、地域の活性化につながる事業を図ってまいります。

文化財行政においては、国・県及び市指定文化財の保存・管理のための定期的な巡回や除草作業等の実施及び施設等の整備、資料館の修繕、収蔵品の燻蒸処理を行いました。今後も適切な維持・管理に努めるとともに、文化財の保存と活用に努めてまいります。また、国土交通省の砂防事業に伴う権現脇遺跡の整理調査や県営ほ場整備に伴う養台寺跡遺跡の発掘調査なども行いました。今後も遺跡の発掘調査を継続しながら、保存と記録を行ってまいります。国指定史跡日野江城跡については、世界文化遺産である原城跡と同じ有馬氏の城跡であり、普遍的な価値を有するかけがえのない文化財として維持管理に努め、調査・整備を進めてまいります。

世界遺産推進においては、世界文化遺産である原城跡を万全な状態で保存していくための遺産影響評価や保全状況を世界遺産委員会に報告するためのモニタリングの実施と定期報告の準備などを実施しました。また、市民や来訪者にその価値を理解していただくための事業として、南島原市世界遺産市民協働会議主催で、南有馬小学校の6年生に協力をいただき、「南島原世界遺産物語」の動画の作成を行い、YouTubeで公開をいたしました。さらに、11月に原城跡及びその周辺的环境美化と世界遺産に対する地元の意識情勢のため清掃活動を実施いたしました。

地域の物産振興や観光振興に関しても、関係部署や民間組織との連携が重要になっており、摧全と活用のバランスを図りながら取組を進めてまいります。

令和3年9月
南島原市教育委員会

学識経験者の所見

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 (令和2年度) 事業分」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会及び教育委員の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮したうえで各種会議が計画的に実施されている。会議を開催するにあたっては、各委員への連絡や調整はもとより、会議に必要な資料も前もって配布する等きめ細やかな対応がなされている。そのため、会議における懸案事項等についても十分な意見交換や検討・報告がなされており評価できる。

また、定例の会議については、その結果を市のホームページに掲載して市民へ周知し、効果を上げていることが窺われる。

さらに、コロナ禍ではあるが、学校訪問や研究発表会へも年度当初の計画に従って参加し、指導・支援に努められている。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

南島原市教育振興基本計画目的達成のための指針を立て、小・中学校や各種教育機関の長の任免及び、教職員の人事や進退に係る決定や教育委員会規則の制定改廃、教育予算等広範囲にわたる業務内容について慎重かつ公正に取り組みされており、ほとんどの点検項目は達成されている。

本市教育活性化の基盤となる業務内容であるので、今後とも確実な遂行をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

有家小学校校舎新築工事完了にともない新切小学校・蒲河小学校と統合し、新有家小学校が開校した。これにより、これまで継続して取り組まれていた小学校の適正規模・適正配置化が当初の計画を概ね達成していることは南島原市民の一人として大変うれしい限りである。切瑳琢磨して成長していく児童の教育の場が保障されるとともに教職員の負担軽減にもつながるものと期待している。

また、地球温暖化にともなう気温上昇に対して、空調機が特別教室にも取り付けられたことや、校舎や各種教育施設の老朽化にともなう補修工事も適切に実施されている。

児童生徒や教職員が安全で安心して活動しやすい学校環境の整備に努められていることに感謝したい。

一方、社会教育施設の整備についても計画的な取組が見られ、市民の生涯学習の場の提供に配慮がなされており、評価できる。

2 学校教育の推進に関する事務

学校教育は確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育むことを目指して、各種施策が一貫して実施されている。

市の教職員研修や人間教育研究指定事業は、学校現場で直接指導に当たる教職員の指導力の向上につながるとともに、児童生徒の「生きるための学力と人間力の向上」に大いに

寄与するものと期待できる。

また、新入学児童支援事業や特別支援教育推進事業・子どもの悩み相談事業では、心身に障害のある児童生徒やその保護者に対してもきめ細かな配慮がなされ、一人一人の児童生徒のニーズに対応する教育が推進されている。これらの事業は、児童生徒はもとより、その保護者・地域住民にも特別支援教育に対する意識を啓発する機会となっている。

外国語教育活動では、6人の外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に、市独自の英語指導助手(EAT)3名を市内全小学校に派遣している。この派遣でより多くの児童生徒が英語や外国の文化に直接触れることができている。これからの時代を生きる児童生徒にとって、英語の習得や国際社会を理解する上で大変効果的であるといえる。

さらに、北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展の開催は、美術や科学に対する児童生徒の興味や関心を高めるとともに絵画や彫塑・科学研究物への創作意欲を高めている。今後ともぜひ継続して開催してもらいたい。

学校給食では、新しい給食センターの整備が計画的に進められ、間もなく供用の運びとなっていると聞く。今後とも安全・安心で美味しい給食が提供できるよう一層の努力をお願いしたい。

3 社会教育の推進に関する事務

社会教育委員兼公民館運営審議会委員の会議や研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模が縮小され、思うような活動ができなかった事は残念である。コロナ終息後の活動を視野に入れた準備や活動計画の策定をお願いしたい。

家庭教育では、子育てにかかわる保護者に対して乳幼児期から連続する育児についての知識や技能を学ぶ場を提供している。そのため、保育士を中心に保護者を支援できる人材の養成に努めている。

家庭教育支援に関するネットワークの構築については、感染症対策に配慮しながらもわくわく広場における講座が市内で21講座、192人の受講者を対象に開催される他、情報提供や相談支援も取組ができたことは、関係各位の努力によるもので評価できる。

成人教育のための各種公民館講座の開催や読書活動推進を図る図書館司書の活用や図書館教室の開催についても感謝するとともに今後の活動に大いに期待する。

南島原市の地域の特性を考慮したセミナリヨ版画展やアートビレッジ・イン・シラキノなどの芸術文化面の事業は、市民に心の豊かさやうるおいを与えるものとなっているが、コロナウイルスのために活動やイベントの多くが中止となった。コロナ終息後の活動の再開が望まれる。

4 スポーツの振興に関する事務

新型コロナウイルスの感染拡大は、東京2020オリンピックをはじめ国内外のスポーツイベントにも大きな影響をあたえ、大会や活動の中止や延期、無観客による開催を余儀なくしている。南島原市もほとんどの活動や大会が中止された。

このような状況下であるが、南島原市体育協会やスポーツ推進委員会・総合型地域スポーツクラブとの連携が積極的に行われたことは評価できる。また、小学校社会体育活動支援として各クラブへ補助金が交付されたことはありがたい。

コロナ禍におけるスポーツイベントの開催のあり方や方法を市民の安全・健康維持など新しい生活様式と関連して考えていかなければならない。コロナウイルス対応のワクチン

接種も視野に入れた本市スポーツ活動の発展に努めてもらいたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

資料館等の維持・管理については、資料の点検・整理・修繕がなされているが、まだ改善する余地がある。指定文化財の巡回と保護管理は定期的に行われており、目標は概ね達成されている。さらに、数多くの埋蔵文化財の発掘調査についても積極的に実施され、目標は権現脇遺跡調査を除いてすべて達成されており評価できる。

これらの文化財は、郷土の歴史やその時代そこに生きた先人の生活や工夫を知る手がかりである。今後とも資料館や文化財の維持管理、保護に努めるとともにその活用についても工夫してもらいたい。

6 世界遺産推進に関する事務

世界遺産の価値に関する情報提供については、パンフレットの配布や原城 VR の活用その他、レンタサイクルの貸し出しなどいろいろな工夫がなされており評価できる。また、世界遺産アクションプランに基づき世界遺産の啓発活動がなされていることも、大変有意義なことであると受け止めている。「世界遺産物語」の動画公開や DVD の配布は、一般市民や観光客にもわかりやすい、なるほどと感じられるような取組となっている。今後とも効果的な取組を期待する。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書(令和2年度分)については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響をうけ、当初計画していた事業が中止や縮小になったものがあり残念である。しかし、コロナ禍で多様な制約を受ける中でも、関係各位の努力と工夫で事業や活動を継続し、当初の目標を達成したものも多く評価できる。

教育委員会各課からの説明を聞き、自己評価の結果は妥当であると感じた。これまでの担当者の努力に敬意を表したい。

今後もコロナ禍の収束を考えて不断の努力と準備がなされることを期待し、所見とする。

令和3年9月1日

瀬川良治

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 (令和2年度) 事業分」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会会議の審議が必要な事項については定例会及び臨時会を計画的に開催し、遺漏なく行われている。中でも懸案事項等についてはその都度機を逃さず議題とし、意見交換や検討・報告を徹底して教育委員の情報の共有化を図るなど、会議の運営が適正であることを評価する。

また、法の改正により、地域住民の教育行政に関する理解と協力を得る観点から、原則公開のルールに則り、教育委員会の詳細な会議録を毎回公告及びホームページを利用して積極的に公開し、地域住民に対して教育委員会としての説明責任を十分に果たしていることが窺える。

さらに、新型コロナウイルス感染症のため学校行事への参加はできなかったものの、教育委員会の責務として、学校の教育環境の実態把握や改善をねらいとする学校訪問の計画的な実施や、研究発表会への出席による的確な指導・支援が行われていることを評価する。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

児童の教育環境面の平準化を図るため、適正規模・適正配置化に向け有家小学校・蒲河小学校・新切小学校の廃止、と同時に三校が統合して新設された有家小学校の設置にあたり、教育委員会により「廃止」と「設置」に関する事務の管理・執行が厳正・適切に行われていることを評価する。

県費負担教職員の懲戒並びに小・中学校やその他の教育機関の長の任免その他の進退についての内申に係る決定、教育委員会規則の制定改廃、教育予算、教科用図書の採択等幅広い分野にわたり慎重かつ厳正に職務が遂行されている。今後も公正な検討・審議がなされるよう望むところである。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に係る事務

学校施設の非構造部材耐震化改修工事をはじめ小・中学校や社会教育施設・社会体育施設の老朽化に伴う整備改修工事は、緊急性の高い案件を考慮しながら計画的に進められていることが評価できる。

学校は児童生徒にとって安全・安心な学びの場であり、学校施設は非常変災時には地域住民の緊急避難場所としての機能を十分に果たす必要がある。近年の地球温暖化による影響やコロナ禍における災害への対応として、市民にとってより快適で安全性を確保するため、今後市との更なる連携のもと、よりよく整備改修を執行していただきたい。

2 学校教育の推進に係る事務

児童生徒に対する適切な就学支援や、特別支援教育助手による一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導、心の教室相談員の配置により校内における相談体制の充実が図られていることが評価できる。

新たに学校支援員配置事業が実施され、小・中学校の教育活動に際し、教職員の業務支援を行うことにより、教職員の負担軽減、個に応じた指導や教員の働き方改革の推進に努めていることを一定評価する。

市教職員研修「あかつき」や「生きるための学力と人間力の向上」をテーマとした人間教育研究指定事業の推進は、教職員の資質・能力の向上を図ることで、多様で変化の激しい社会を生き抜く「確かな学力」の育成に大いに寄与するものである。今後更に児童生徒の学力向上に取り組み、国際社会に貢献できる人づくりに尽力していただきたい。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展は本市独自の取組で、回を重ねるごとに児童生徒の興味関心も高まり、毎年素晴らしい作品が出品されている。コロナ禍においても例年どおり開催されており、小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興への貢献度はたいへん高く、評価できる。

グローバル化が急速に進む中、本市では世界に羽ばたく人材育成を目指し、英語教育の強化を図ることを目的に県内では例を見ない初めての試みとして外国より英語指導助手(EAT)が任用された。平成29年度当初は3名配置で、令和2年度から新たに3名増加予定だったが、コロナ禍で入国できない状況が続いているため達成度が「未達成」であるのはやむを得ない。今後、英語教育への貢献度が極めて大きい英語指導助手(EAT)や外国語指導助手(ALT)を有効活用しながら、英語教育の更なる充実が望まれる。

南島原市総合計画に基づき、新学校給食衛生管理基準を満たした学校給食センター建設に向け、これまで様々な課題を克服しながら事業の推進が図られたことが窺える。令和3年9月の円滑な供用実施に向け今後ともよろしく願いたい。

国のGIGAスクール構想により、本市では1人1台端末が小学4年生から中学3年生まで整備されたが、まだ小学校低学年までには至っていない状況にある。今後ICT機器の整備を全学年に拡大し、ICTを効果的に活用し、災害や感染症の発生等による臨時休業等の緊急時においても学習を継続することで子どもたちの学びを保障することが期待される。また、それに伴い、ICTの活用に向けた教職員のスキル向上を課題にその解決に向けよろしく願いたい。

3 社会教育の推進に関する事務

地域教育力の充実を図るための様々な事業や芸術文化事業、セミナーヨ現代版画展等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施となり、結果的に未達成となった事業も少なくないことが自己点検・評価から窺える。しかし、新しい生活様式を徹底した上で家庭教育支援の充実や成人教育、図書館運営に力点を置いた取組は着々と進められていることを評価する。

少子化や核家族化等家庭環境の変化と併せて子育てや家庭教育を支える地域環境が大きく変化している現在、乳幼児、児童生徒を持つ親に対し学びの機会の充実を図り、家庭教育支援のため地域人材の育成をすることは重要不可欠である。本市がめざす子育てしやすい環境づくりに向け、今後オンライン等を駆使しながら継続して開催していただきたい。

昨今、インターネットやSNSによる誹謗中傷等のいじめ・差別問題は大きな社会問題となっている。一人一人の人権が尊重され差別のない社会をつくるために、今後更に人権教育の推進に向けて大人と子どもも含めた具体的な取組が望まれる。

4 スポーツの振興に関する事務

生涯スポーツの普及に向け、本市では原城マラソン大会や南島原市綱引き大会、マリンスポーツ教室、市民スポーツ大会等様々なスポーツイベントが計画されていたが新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からそのほとんどが中止となった。今後もスポーツ団体との連携を強化し、新しい生活様式を実践しつつ継続してスポーツの振興を図り、スポーツを通して交流人口の拡大、更に地域の活性化につなげてもらいたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

口之津歴史民俗資料館、深江埋蔵文化財・噴火災害資料館などの資料館の維持・管理において、入館者数が減少傾向にあることからコロナ禍の影響力が大きいことが窺える。中でも、口之津歴史民俗資料館は、口之津港ターミナルの一角に口之津港が辿った歴史をテーマとするガイダンススペースが整備され、市民をはじめ多くの方の目に触れることで南島原市の歴史啓発につながる重要な施設である。今後、各資料館において企画展開催等の改善策を講じることで、市民の本市の歴史への関心が高まり来訪者の増加が期待できる。

埋蔵文化財の発掘調査については、調査と保護の観点から数多くの発掘調査が慎重に計画的に進められてきたことが評価できる。

6 世界遺産推進に関する事務

平成30年、原城跡が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録され、その価値に関する情報発信を図るためのパンフレット作製や『有馬歴史ガイド』と『原城VR』の活用及びシステムの拡充により、適切な情報提供がなされていることが評価できる。

世界遺産アクションプランに基づく取組の一つとして、南有馬小学校の6年生の協力のもと「南島原世界遺産物語」の動画制作を完成させ、併せてDVDの制作を行い、市内各小学校や図書館に配布することで地域の歴史や歴史遺産の価値について本市児童の学びが深まり、ふるさとを愛する心が育まれるものと評価できる。

今後更に世界遺産登録を契機に、関係部署や関係団体と連携した観光振興を図り、地域経済の活性化につなげていただきたい。

今回、教育委員会の所管事務について、項目ごとに達成度と評価の観点からより具体的に自己点検・評価がなされており、説明責任をきちんと果たされていることを知ることができた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施の事業もあったが、ほとんどの項目で達成・継続の評価がなされていた。これもひとえに各課担当者の並々ならぬ努力の賜物であり、心から敬意を表したい。

現在コロナ禍にあり、先行き不透明な予測困難な時代ではあるが、これまで培ってきた実績をもとに、今後更に本市教育行政の発展のため、様々な事業の創意工夫による継続を願い、所見とする。

令和3年9月1日

山田 恵子

自己点検・評価

第 1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 会議の開催回数 ○ 審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議回数も適正であった。定例会を12回〔12回〕(月1回)、臨時会を2回〔0回〕実施した。 教育委員会に提案した議案等は、総数60件〔61件〕あった。	達成	継続
② 広報・広聴活動の状況 ○ 教育委員会の定例会及び臨時会開催の市民への周知は、公告及びホームページを利用して行った。 教育委員会の会議録については、ホームページによる公開を行った。 ・ホームページ公開・・・14回〔12回〕	達成	継続

(2) 教育委員と事務局との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 教育委員と事務局間において、年間を通じて重要事項となっていることについて、確実に連絡調整を行った。 ○ 教育委員会の議題のうち議案に関しては、教育委員が議案の検討を事前に十分行うことができるよう会議日以前に教育委員へ資料を送付した。 ○ 懸案事項等についても、教育委員会会議の所管事項で報告し、諸問題に係る意見交換や検討・報告を十分に行った。	達成	継続

(3) 教育委員会と市との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 総合教育会議において、積極的な意見交換を行い、教育委員会と市との連携を図った。 また、会議には副市長も特別に参加し、教育長は事務局の長として、市長・副市長と連携を図った。 ・総合教育会議・・・1回〔1回〕開催	達成	継続

(4) 教育機関等との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 学校への訪問 ○ 学校訪問は学校の教育環境の実態を把握し、必要に応じて改善の手立てを講じることが狙いである。原則として3年で全校を訪問することとしており、教育委員会としての責務により、学校訪問を行った。 ・訪問校数・・・小学校3校〔6校〕、中学校2校〔2校〕 ○ 教育委員は、学校訪問の他に研究発表会にも事務局と連携して出席した。 (入学式などの式典へは、新型コロナウイルス感染症のため不参加)	達成	継続
② その他施設への訪問 ○ 各施設で行われる行事等へは、新型コロナウイルス感染症のため不参加。	未実施	継続

(5) 教育委員の研修等

点検・評価のコメント及び活動内容等				達成度	評価
<p>○ 新型コロナウイルス感染症のため外部研修会等の多くが中止となったため、自己研鑽に努めた。</p> <p>また、新しい情報や懸案事項等については、その都度、教育委員会の会議の場において議題にするなど、一定の情報の共有化を図った。</p> <p>[活動内容]</p> <p>教育長・・・ 唯一、長崎県都市教育長協議会及び県・市町教育長スクラムミーティングに参加でき、県及び各市町の教育長との情報交換、懸案事例の検証等を行った。</p> <p>教育委員（教育長を含む。）</p> <p>・・・ 外部研修会は全て中止となった。</p>				達成	継続
区 分	全国対象	九州内対象	県内対象		
参加回数	0回〔1回〕	0回〔1回〕	1回〔7回〕		
参加延べ人数	0人〔1人〕	0人〔3人〕	1人〔16人〕		

(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な審議については、遅滞なく、漏れなく実施した。 ・委員の任命等議案・・・11件〔6件〕	達成	継続

(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 島原・雲仙・南島原地区教科用図書採択協議会において調査審議し、教育委員会で採択することを議決した。 ・令和3年度使用の中学校教科用図書の採択	達成	継続

(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 自己点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、ホームページで公表した。 ○ 点検及び評価を行うに当たって、検討会議を3回開催し、学識経験者の知見の活用を図ることができた。	達成	継続

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務)

1 教育環境の充実に関する事務

(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価												
<p>○ 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、今後は市と更なる連携をして整備を行っていく必要があり、その安全性の確保は極めて重要である。</p> <p>校舎及び体育館の耐震補強工事は平成26年度で終了したが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、小学校3校、中学校1校の非構造部材耐震化改修工事を実施した。</p> <p>今後も、小・中学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めていく予定である。</p> <p>○ 小・中学校の非構造部材耐震化改修工事・・・計4件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>工事費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南有馬小学校校舎外壁改修工事(R元繰)</td> <td>45,469,600</td> </tr> <tr> <td>堂崎小学校管理棟改修工事(R元繰)</td> <td>37,601,300</td> </tr> <tr> <td>飯野小学校屋内運動場改修工事(R元繰)</td> <td>56,846,900</td> </tr> <tr> <td>有家中学校校舎外壁改修工事(R元繰)</td> <td>75,632,700</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>215,550,500</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	工事費(円)	南有馬小学校校舎外壁改修工事(R元繰)	45,469,600	堂崎小学校管理棟改修工事(R元繰)	37,601,300	飯野小学校屋内運動場改修工事(R元繰)	56,846,900	有家中学校校舎外壁改修工事(R元繰)	75,632,700	合計	215,550,500	達成	継続
工事名称	工事費(円)													
南有馬小学校校舎外壁改修工事(R元繰)	45,469,600													
堂崎小学校管理棟改修工事(R元繰)	37,601,300													
飯野小学校屋内運動場改修工事(R元繰)	56,846,900													
有家中学校校舎外壁改修工事(R元繰)	75,632,700													
合計	215,550,500													

(2) 小・中学校の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価																												
<p>○ 小・中学校施設及び設備の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修工事を行った。</p> <p>当初計画していた緊急性の高い32件と、年度途中で発生した2件、計34件について、工事を実施した。</p> <p>○ 小学校施設の整備改修工事・・・計22件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>工事費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有家小学校新築工事(建築工事)(R2支出分)</td> <td>997,927,600</td> </tr> <tr> <td>有家小学校新築工事(電気設備工事)(R2支出分)</td> <td>106,869,400</td> </tr> <tr> <td>有家小学校新築工事(機械設備工事)(R2支出分)</td> <td>188,275,500</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校特別教室空調整備工事(R元繰)</td> <td>11,997,700</td> </tr> <tr> <td>野田小学校特別教室空調整備工事(R元繰)</td> <td>20,469,900</td> </tr> <tr> <td>南有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)</td> <td>12,975,600</td> </tr> <tr> <td>有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)</td> <td>9,002,400</td> </tr> <tr> <td>西有家小学校特別教室空調整備工事(R元繰)</td> <td>11,880,000</td> </tr> <tr> <td>布津小学校校舎トイレ改修工事(R元繰)</td> <td>20,302,700</td> </tr> <tr> <td>有家小学校グラウンド整備工事(前金払のみ)</td> <td>50,420,000</td> </tr> <tr> <td>有家小学校屋内運動場外壁タイル改修工事</td> <td>3,355,000</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校トイレ改修工事</td> <td>1,408,000</td> </tr> <tr> <td>南有馬小学校遊具改修工事</td> <td>1,296,900</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	工事費(円)	有家小学校新築工事(建築工事)(R2支出分)	997,927,600	有家小学校新築工事(電気設備工事)(R2支出分)	106,869,400	有家小学校新築工事(機械設備工事)(R2支出分)	188,275,500	加津佐小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	11,997,700	野田小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	20,469,900	南有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	12,975,600	有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	9,002,400	西有家小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	11,880,000	布津小学校校舎トイレ改修工事(R元繰)	20,302,700	有家小学校グラウンド整備工事(前金払のみ)	50,420,000	有家小学校屋内運動場外壁タイル改修工事	3,355,000	加津佐小学校トイレ改修工事	1,408,000	南有馬小学校遊具改修工事	1,296,900	達成	継続
工事名称	工事費(円)																													
有家小学校新築工事(建築工事)(R2支出分)	997,927,600																													
有家小学校新築工事(電気設備工事)(R2支出分)	106,869,400																													
有家小学校新築工事(機械設備工事)(R2支出分)	188,275,500																													
加津佐小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	11,997,700																													
野田小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	20,469,900																													
南有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	12,975,600																													
有馬小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	9,002,400																													
西有家小学校特別教室空調整備工事(R元繰)	11,880,000																													
布津小学校校舎トイレ改修工事(R元繰)	20,302,700																													
有家小学校グラウンド整備工事(前金払のみ)	50,420,000																													
有家小学校屋内運動場外壁タイル改修工事	3,355,000																													
加津佐小学校トイレ改修工事	1,408,000																													
南有馬小学校遊具改修工事	1,296,900																													

西有家小学校遊具改修工事（砂場）	931,700
西有家小学校遊具改修工事（ブランコ）	1,164,900
布津小学校体育館放送設備改修工事	2,845,700
飯野小学校校舎放送設備取替工事	840,400
大野木場小学校特別支援教室改修工事	539,000
小林小学校高圧受電設備改修工事	8,959,500
小林小学校トイレ改修工事	4,238,300
口之津小学校北側防草シート敷設工事	649,000
有家小学校校章取付工事	110,000
小 計	1,456,459,200

○ 中学校施設の整備改修工事・・・計12件

工 事 名 称	工事費（円）
加津佐中学校特別教室空調整備工事	16,375,700
口之津中学校特別教室空調整備工事	17,710,000
南有馬中学校特別教室空調整備工事	16,231,600
北有馬中学校特別教室空調整備工事	14,249,400
西有家中学校特別教室空調整備工事	10,637,000
有家中学校特別教室空調整備工事	13,168,100
布津中学校特別教室空調整備工事	11,014,300
深江中学校特別教室空調整備工事	15,807,000
有家中学校校舎トイレ改修工事	28,183,100
加津佐中学校音楽室床張替改修工事	1,031,800
南有馬中学校校舎東側トイレ改修工事	1,598,300
南有馬中学校少人数教室床改修工事	1,551,000
小 計	147,557,300
合 計	1,604,016,500

(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価	
○ 社会教育施設、社会体育施設の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修を行った。 当初計画していた緊急性の高い27件と、年度途中で発生した2件、計29件について、整備改修を実施した。	達成	継続	
○ 社会教育施設の整備改修工事・・・計11件			
工 事 名 称			工事費（円）
ありえコレジヨホール中央監視装置等更新工事			8,797,800
原城オアシスセンター空調機取替工事			4,528,700
加津佐青年婦人会館トイレ改修工事			1,650,000
深江公民館調理室エアコン設置工事			3,077,800
その他工事（7件）	3,138,550		
小 計	21,192,850		

○ 社会体育施設の整備改修工事・・・計18件

工 事 名 称	工事費 (円)
市内社会体育施設トイレ改修工事	1,652,200
南有馬体育館屋根防水改修工事	37,031,500
古園体育館浄化槽新設工事	3,496,900
多目的広場整備工事(1工区)(R2支出分・債務負担)	41,360,000
多目的広場整備工事(2工区)(R2支出分・債務負担)	52,050,000
多目的広場整備工事(3工区)(R2支出分・債務負担)	24,650,000
多目的広場整備工事(電気)(R2支出分・債務負担)	41,210,000
多目的広場管理棟新築工事(R2支出分・債務負担)	39,930,000
多目的広場屋外トイレ等改修工事(R2支出分・債務負担)	7,060,000
その他工事(9件)	6,376,700
小 計	254,817,300
合 計	276,010,150

2 学校教育の推進に関する事務

(1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 本市に居住する心身に障がいのある児童生徒(就学前の幼児を含む)に対し、それぞれの能力に応じた教育が受けられるよう、その判定と就学支援の適正を期して、教育委員会の諮問に応じて、その結果を答申し、適切な就学支援を行った。</p> <p>開催期日・・・7月8日(水)、11月6日(金)</p> <p>開催場所・・・南有馬庁舎大会議室</p> <p>出席者・・・教育支援委員13人、教育長他4人、計17人</p> <p>審議件数・・・95件〔71件〕</p>	達成	継続

(2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 特別支援教育助手は、特別な配慮を要する児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができるように配置した。</p> <p>特別支援教育助手の配置によって、学校・保護者との連携が十分に図られ、児童生徒の状況に応じた学習指導、生徒指導及び生活指導、進路指導等への適切な支援ができた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・34人〔35人〕【35人】</p> <p>配置学校数・・・23校（11校は2人配置）〔23校〕</p> <p>年間勤務日数・・・190日</p>	概ね達成	継続

(3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 心の教室相談員は、悩み等を持つ児童生徒の相談を専門的に受けたり、ストレスを和らげたりすることができる第三者的な存在であり、校内における相談体制を整えるために配置した。</p> <p>不登校児童生徒数については、小・中学生とも前年に比べ減少はしているものの、設定目標に達しておらず、心の教室相談員との連携を更に深めていく必要がある。</p> <p>また、通級型心の教室「つばさ」に施設指導員6人を配置し、個別に適応指導を進めており、児童生徒7人が通級し、卒業生2人が高等学校に進学する等の成果をあげた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・17人〔18人〕【18人】</p> <p>年間勤務日数・・・心の教室相談員140日</p> <p>通級型心の教室施設指導員200日</p> <p>○ 不登校児童生徒数</p> <p>小学校・・・2人（全体の0.09%）〔3人（全体の0.14%）〕</p> <p>中学校・・・25人（全体の2.22%）〔29人（全体の2.66%）〕</p> <p>計・・・27人（全体の0.90%）〔32人（全体の1.02%）〕【0.5%】</p>	概ね達成	継続

(4) 学校支援員配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 学校支援員は、小・中学校の教育活動に際し、教職員の業務支援を行うことにより、教職員がより児童・生徒への指導や教材研究等に尽力できるようにするために配置しており、教職員の負担軽減が図られ、個に応じた指導や教員の働き方改革の推進に寄与した。</p> <p>○ 配置状況 配置人数・・・20人〔21人〕【23人】 配置学校数・・・21校〔21校〕 年間勤務時間数・・・760時間</p>	概ね達成	継続

(5) 市教職員研修「あかつき」

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 南島原市の教育の在り方の実現を目指して、南島原市における喫緊の教育課題や教職員のニーズに応じた実践的な研修を行うことで、高い専門性と豊かな人間性をもった品格ある教職員を育成し、学校力の向上を図ることをねらいとしており、学力向上、授業改善、特別支援教育等をテーマとした研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2講座のみの実施にとどまった。</p> <p>○ 実施内容 開設講座の種類・・・2種類〔5種類〕 実施講座数・・・・・・2講座〔11講座〕 受講対象者・・・・・・全教職員</p> <p>○ 講座終了後のアンケート結果（ねらいに基づく構成や運営がなされたか。） よかった・・・・・・47.4%〔82.8%〕 ややよかった・・・・47.4%〔16.2%〕 やや悪かった・・・・5.3%〔1.0%〕 悪かった・・・・・・0%〔0%〕</p>	未実施	継続

(6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 南島原市の出身で名誉市民である北村西望氏、同じく名誉市民である古野清孝氏、古野清賢氏兄弟の功績を称え、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興を図ることを目的として開催した。 11月13日(金)～15日(日)に展覧会を開催し、15日には表彰式を開催した。 来場者数・・・817人〔755人〕</p> <p>○ 北村西望賞教育美術展入賞数 総出品数496点〔558点〕【420点】 西望賞・・・小学生 4点、中学生2点〔小学生5点、中学生1点〕 奨励賞・・・小学生12点、中学生6点〔小学生12点、中学生6点〕 特選・・・小学生60点、中学生13点〔小学生60点、中学生18点〕</p> <p>○ 古野賞科学技術展入賞数 総出品数 127点〔128点〕【120点】 古野賞・・・小学生 1点、中学生 1点〔小学生1点、中学生1点〕 優秀賞・・・小学生 2点、中学生 1点〔小学生2点、中学生1点〕 奨励賞・・・小学生 6点、中学生 2点〔小学生6点、中学生1点〕</p>	達成	継続

(7) 人間教育研究指定小学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・深江小学校（平成30～令和2年度）※2年度は県教委指定 ・・・南有馬小学校（平成31～令和2年度） ・・・加津佐小学校（令和2～3年度） ○ 研究費・・・指定校に対し、研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 深江小学校・・・11月11日(水) 3年次 本発表 南有馬小学校・・・11月18日(水) 2年次 本発表 加津佐小学校・・・11月26日(木) 1年次 中間発表（指導のみ） 研究紀要の作成・配布 深江小学校・・・11月11日(水) 3年次 本発表時 南有馬小学校・・・11月18日(水) 2年次 本発表時 	達成	継続

(8) 人間教育研究指定中学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・南有馬中学校（令和2～3年度） ○ 研究費・・・指定校に対し、研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 南有馬中学校・・・12月2日(水) 1年次 中間発表（指導のみ） 	達成	継続

(9) 総合学習事業（小学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和2年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・924,132円〔1,209,310円〕 (1校平均61,609円)〔80,620円〕 ○ 実施学校数・・・15校〔15校〕 	達成	継続

(10) 総合学習事業（中学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和2年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・485,267円〔629,428円〕 	達成	継続

(1校平均60,659円) [78,678円]

○ 実施学校数・・・8校 [8校]

(11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手等の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 市内中学校に6人の外国語指導助手（ALT）を配置し、中学校英語科の授業の充実を図った。直接ALTと触れ合うことで、生徒の発音・発声の習得や国際理解教育の推進に大きく寄与した。</p> <p>また、英語指導助手（EAT）3人を配置し、小学校英語教育の更なる充実を図った。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>（ALT）</p> <p>配置人数・・・6人 [6人] 【6人】</p> <p>配置校・・・6校（深江中、布津中、西有家中、北有馬中、南有馬中、口之津中）</p> <p>派遣校・・・2校、1園（有家中、加津佐中、北有馬こども園）</p> <p>（EAT）</p> <p>配置人数・・・3人 [6人] 【6人】</p> <p>派遣校・・・全小学校</p>	未達成	継続

(12) 学校給食関連設備整備事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 自校方式調理場の段階的解消に向けて取り組んだ結果、令和3年3月31日現在、7か所（給食センター6か所、自校方式学校給食調理場1か所）である。</p> <p>学校給食センター建設について、令和2年度に着工した新築工事に加え、厨房機器（1～2工区）、配送車（8台）、食缶（5種類）及び厨房消耗品（1～7工区）の購入を行い、事業の推進を図った。</p> <p>○ 令和2年第二回臨時議会にて、厨房機器購入の議案が可決。</p> <p>○ 入札 厨房機器購入5月、配送車購入10月、食缶購入10月、厨房消耗品2月</p> <p>○ 仮契約 厨房機器購入6月</p> <p>○ 本契約 厨房機器購入6月、配送車購入10月及び11月、食缶購入11月、厨房消耗品購入2月及び3月</p>	概ね達成	継続

(13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 平成22年9月に策定した「南島原市立小学校適正規模・適正配置事業基本方針」を柱とし、小学校の適正規模・適正配置化を学校、保護者及び地域とともに進めていくため、平成24年8月に「南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画」を策定した。</p> <p>有家ブロック小学校（3校）の統合については、「有家ブロック小学校統合実施計画」を策定し、令和2年度中に統合準備委員会を開催し、令和3年4月1日に有家小学校、蒲河小学校、新切小学校を統合し、（新）有家小学校を開校した。</p>	達成	継続

(14) ICT機器の整備

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 国のGIGAスクール構想に伴い、学校の通信環境及び1人1台端末を整備し、小・中学校の授業改善を進め、児童生徒の学力向上を図った。</p> <p>評価については、今後、未整備の児童用（小学1年～3年生）及び不足分の教師用（小・中学校）の端末整備に加え、指導する教師の授業での活用技能向上を図るための研修を実施する必要があることから拡充とした。</p> <p>南島原市立小学校内LAN整備工事（小学校14校）… 48,517,700円 南島原市立中学校内LAN整備工事（中学校8校）… 28,160,000円 GIGAスクール対応教育用端末購入 （小学校1,114台・中学校1,146台）… 125,716,140円</p>	未達成	拡充

(15) 中体連補助事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>○ 体育の振興を図りその活動を支援するため、南島原市中学校体育連盟に対し中体連運営補助、部活動補助、大会出場補助等の経費の支援を行った。2年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止された大会があったため大会出場補助金額が少なかった。</p> <p>運動部活動数… 74部 県中総体… 駅伝競技の3校（その他の競技については県大会中止） 九州中総体… 中止 全国中総体… 中止 県新人大会… 8校19件 九州新人大会… 0件（1校1競技出場決定するも感染状況により辞退）</p>	未実施	継続

3 社会教育の推進に関する事務

(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価												
<p>① 会議の開催</p> <p>○ 社会教育委員兼公民館運営審議会会議を年1回（例年4回開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため1回）開催し、教育委員会が計画する事業の説明や事業の進捗状況、実績について報告を行った。</p> <p>実践する社会教育委員を目指し、生涯学習課が主催する事業へ参加し、事業の意義や問題点などに対する指導や助言を行うこととした。</p> <p>また、外部研修会等に参加した委員から、研修内容の報告を受け、研修成果について委員相互の共有化を図るため、報告資料を全委員へ送付した。</p> <p>課題である社会教育委員の資質向上と活動充実を図ることを目的とした研究協議は、感染拡大防止に伴う会議の縮小により具体的な協議までは至らなかった。</p> <p>今後も、提言書「潤いとつながりのある地域教育力向上を図る」の具現化に向けた取組について協議を行っていくこととした。</p> <p>○ 第1回研修会 3月6日(土) 長崎県社会教育支援「草社の会」冬季研修会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の力を想う」 講師 草社の会 江頭明文氏 ・「想いをカタチに…」 講師 川棚町 藤田直子氏 ・「この街で」 講師 大村市 富永耕造氏 <p>○ 第1回 7月29日(水) 延期 12月25日(金) 延期 3月29日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長・副委員長の選出について ・令和2年度社会教育事業実績について ・令和3年度社会教育事業計画について ・令和3年度研修・大会計画について 	未達成	継続												
<p>② 委員の研修</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため社会教育並びに公民館関係の研究大会が中止、ならびに県研修会においても中止となり社会教育委員兼公民館運営審議会委員としての意識向上と自己研鑽は図れなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>九州地区研究大会</th> <th>県研究大会</th> <th>県研修会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加回数</td> <td>0回〔1回〕</td> <td>中止〔1回〕</td> <td>1回〔4回〕</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>－〔6人〕</td> <td>－〔10人〕</td> <td>2人〔4人〕</td> </tr> </tbody> </table>	区分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会	参加回数	0回〔1回〕	中止〔1回〕	1回〔4回〕	参加延べ人数	－〔6人〕	－〔10人〕	2人〔4人〕	未達成	継続
区分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会											
参加回数	0回〔1回〕	中止〔1回〕	1回〔4回〕											
参加延べ人数	－〔6人〕	－〔10人〕	2人〔4人〕											

(2) 家庭教育支援の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 地域人材の育成</p> <p>○ 家庭教育は全ての教育の出発点という認識に立ち、少子化や核家族化等による環境の変化に対応した家庭教育支援の充実を図るため、内閣府の補助事業等を積極的に活用し地域人材の育成と親の学びの機会の充実に努めた。</p> <p>人材育成については、家庭教育支援プログラムを進行するファシリテーターや、保育士を中心として主に乳幼児期に関する「保護者支援」の知識・技術等を身につけた保護者支援士の養成に努めた。しかしながら、結婚・妊娠・</p>	概ね達成	改善

<p>出産・育児まで切れ目のないきめ細やかな支援を行うコアサポーター養成講座については、新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>評価については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>○ 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援コアサポーター養成講座 受講者数 ー [26人] ・家庭教育支援プログラムファシリテーター養成講座 3月12日(金) 受講者数 18人[中止] ファシリテーター数 124人[119人] 【160人】 ・南島原市保護者支援士養成講座 9月27日(日)、10月25日(日)、11月29日(日)、 1月31日(日)、2月21日(日) 受講者数 6人[46人] 		
<p>② 学びの機会の充実</p> <p>○ 子育てに関心が高い父母等に、乳幼児期から学びの機会創出を図るため、親子体験型の講座や親育ち講座を開設したほか、家庭教育支援施設「わくわく広場」や公民館、図書館の積極的な活用に努めた。しかしながら、一部の家庭教育学級や家庭教育講演会については、新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>評価については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>○ 家庭教育学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 27教室[99教室] 受講者数 314人[2, 274人] (親子体験型家庭教育学級、親育ち講座ほか) 【48教室】 <p>○ 家庭教育講演会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数 ー [510人] <p>○ 家庭教育(子育てサロン)講演会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数 ー [289人] 【500人】 	未達成	改善
<p>③ 家庭教育支援に関するネットワークの構築</p> <p>○ 子育て支援等にかかる研究調査及び学習啓発・相談等のプラットフォーム化を図り、きめ細かい伴走型支援を提供する施設として「わくわく広場」を開設している。</p> <p>情報提供や家庭教育啓発活動のほか、市民全体の家庭教育支援にかかる共通理解と啓発及び参加者の教育力向上をめざした学習会を行った。</p> <p>このように、現代的課題の解決に向けた一步を踏み出したことは一定の評価ができる。</p> <p>今後も家庭教育支援のネットワーク化や親の学びの機会の充実に努めたい。</p> <p>○ わくわく広場における講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内 21講座[32講座] 受講者数 192人[452人] (家庭教育支援プログラム、おはなし会ほか) <p>○ 情報提供及び相談支援(講座以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> 来所・訪問件数 100件[44件] 来所・訪問者数 202人[69人] 	概ね達成	継続

(3) 地域教育力の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 地域による学校支援の充実</p> <p>○ 学校支援会議を核とした「南島原っ子の夢・憧れ・志育成プロジェクト」に基づき、学校・家庭・地域の更なる連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力の向上に努めることができた。</p> <p>会議、研修会を通じて、これからの学校と地域の目指すべき姿として、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動へ移行するため、学校教育部局と調整を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールへの移行に伴う学校支援会議の状況調査 実施日 1月15日(金) 市内小中学校 【1地区】 ・学校運営協議会及び地域学校協働活動コーディネーター研修会 新型コロナウイルス感染症のため前期・後期ともに中止した。 【23人】 	未達成	継続
<p>② 地域教育力を生かした交流体験活動の実施</p> <p>○ 放課後子ども教室・ながさき土曜学習推進事業(寺子屋21)</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため前期・後期ともに中止した。</p> <p>週末活動がメインであることから、今後平日の居場所づくりや学習活動の場として、新しい生活様式のもと放課後教室の拡充に努めたい。</p> <p>前期 - 参加者数 - [82教室・868人] 後期 - 参加者数 - [76教室・778人] 【99教室】</p>	未実施	継続
<p>○ 地域で学ぶ通学合宿事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>(6泊7日通学合宿)</p> <p>有家 参加者数 - [19人] 北有馬 参加者数 - [15人] 南有馬 参加者数 - [11人] 加津佐 参加者数 - [17人]</p> <p>(3泊4日通学合宿)</p> <p>深江 参加者数 - [22人] 布津 参加者数 - [12人] 【7地区】</p>	未実施	継続
<p>○ 子ども会育成事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども映画会 参加者数 - [445人] ・のびのび少年デー 参加者数 - [477人] ・次期ジュニアリーダー研修会 深江～西有家 参加者数 - [中止] 北有馬～加津佐 参加者数 - [27人] 	未実施	継続
<p>③ 地域ぐるみの健全育成活動</p> <p>○ 青少年健全育成事業</p> <p>夏休み帰宅放送および南島原市民会議広報誌配布は実施したが、新型コロナウイルス感染症のため、その他の事業は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と遊ぼう 	未達成	継続

<p>参加者数 - [1,500人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年ソフトボール大会 <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 - [7チーム] ・夏休み帰宅放送 (各中学校代表) <ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間 7月23日(木)～8月23日(日) ・ファミリンピック <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 - [500人] ・南島原市民会議広報誌配布 (学校経由他) <ul style="list-style-type: none"> 配布部数 4,000部 [4,000部] 		
<p>④ 成人教育</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症に伴い、新しい生活様式のもと、公民館講座等の学習活動の機会と内容の充実を図るとともに、学習の成果を社会に還元できるような環境の整備に努めた。今後も各地区での一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座等の地域課題に即した講座や人づくり・地域づくりにつながる学習会、自治公民館などとの連携事業を企画し、公民館本来の役割を考えた事業の実施に努めたい。</p> <p>地域の活性化を図るため、市内各地域において自治会・公民館活動を積極的に行っている取組事例を紹介し、市民一人ひとりが今後の南島原市を考え、地域が抱える課題解決を目的とする「地域の力を考える集い」は新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>各種公民館講座の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座、高齢者学級 <ul style="list-style-type: none"> 41教室 [76教室] 128回 [224回] 【70教室】 受講者数 延べ2,288人 [4,777人] ・地域の力を考える集い 中止 <ul style="list-style-type: none"> 深江・布津会場 参加者数 - [45人] 有家・西有家会場 参加者数 - [39人] 北有馬・南有馬会場 参加者数 - [44人] 口之津・加津佐会場 参加者数 - [74人] 	概ね達成	継続
<p>⑤ 人権教育</p> <p>○ 青少年人権教育推進事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年人権講演会 (市内全ての中学生対象) <ul style="list-style-type: none"> 12月 2日(水) 西有家中学校 講師：ささえさんの会 12月 4日(金) 南有馬中学校 講師：小玉 澄香 氏 12月 4日(金) 口之津中学校 講師：梅木澤 茂 氏 12月 8日(火) 有家中学校 講師：松下 裕之 氏 12月 8日(火) 加津佐中学校 講師：小玉 澄香 氏 12月 9日(水) 深江中学校 講師：ささえさんの会 12月10日(木) 北有馬中学校 講師：松川 美代 氏 ・人権教育学習会 (市内小学生対象) <ul style="list-style-type: none"> 11月27日(金) 有馬小学校 (4年生) 講師：松川 美代 氏 12月 4日(金) 有家小学校 (全学年) 講師：土手野 和広 氏 3月 2日(火) 加津佐小学校 (4年生) 講師：中村 まり子 氏 	達成	継続

(4) 芸術文化の振興

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 芸能文化事業</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限する必要があることから改善とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年劇場（中学生対象） ・子どもミニコンサート（小学生対象） 市内小学校 ー〔654人〕 ・子ども夢劇場（小学生対象） 市内小学校 ー〔743人〕 ・ひまわり夢劇場（幼児対象） 市内会場 ー〔954人〕 	未実施	改善
<p>芸術文化振興事業</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限する必要があることから改善とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤登紀子コンサート ・ミュージカル「クラスアクト」 <p style="text-align: right;">①芸能文化事業【10回】</p>	未実施	改善
<p>② 第19回セミナリヨ現代版画展</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 評価については、新型コロナウイルス感染症対策として審査方法や作品数の見直し等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>応募総数 ー〔16,977点〕 参観者数 ー〔1,252人〕 収蔵作品展 2月27日（土）～3月14日（日）参観者531人</p>	未実施	改善
<p>③ アートビレッジ・シラキノ事業</p> <p>○ アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業 アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業は新型コロナウイルス感染症のため中止した。 AIR事業以外の版画に関連した講座を開催し、地域住民等との交流を含め、本市の多様な魅力の創出につなげることができた。 評価については、施設の在り方について協議する必要があることから改善といた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートビレッジ・シラキノ エducator（※） 池田 俊彦 氏 ・アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業 中止 ・銅版画講座3回 参加者7人 木版画講座9回 参加者6人 <p>※ エducator：美術館や博物館において教育・普及活動を行う専門家。 展示解説や各種の教育プログラムなどに携わり、来館者の学習を支援する。</p> <p>○ 施設（ギャラリー、工房、宿泊）の利用 施設の運営面ではギャラリー・工房・宿泊施設の個人やグループでの利用が少なく、今後、利用拡大に向けた取組が必要である。</p> <p>ギャラリー 0件〔0件〕 工房 2件〔31件〕 宿泊 2件〔14件〕</p>	未達成	改善

(5) 読書活動の推進

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 図書館</p> <p>○ 市民の利便性を向上させ、より使いやすい図書館運営を図るため、市内6図書館、2図書室が連携・協力し読書活動の推進を行った。</p> <p>また、「子どもと本でつながる学校と図書館」連携事業は、新型コロナウイルス感染症のため5月のみ中止したが、学校図書館に図書館司書を派遣し、小・中学校図書館、図書館、公民館図書室が相互に連携し、図書資料の充実を行い、子どもの読書活動推進にも取り組んだ</p> <p>更には、家庭教育支援施設としての機能の充実を図るため、親子や幼児を対象とした図書館教室の開催や、乳幼児図書の充実に努めた。</p> <p>このように他市にない充実した読書環境を生かし、知の地域づくりに努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛等のなか、子どもの居場所づくりや読書教育の充実につながったことは一定の評価ができる。</p> <p>今後も保護者や地域住民によるボランティアの育成を目指し社会教育行政職員、図書館職員、図書館ボランティア、学校などの関係機関と連携を密にし、知の地域づくりに取り組んでいきたい。</p>	概ね達成	継続
<p>② 読書活動推進事業</p> <p>図書館教室は新しい生活様式のもと実施したが、新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>評価については、図書館教室と公民館講座との連携が可能であることから統合とした。</p> <p>○ おはなしカーニバル in 南島原</p> <p>○ 「絵本ライブ in 学校図書館」</p> <p>○ 図書館教室)</p> <p>内容 各図書館 参加者数 延べ2,580人〔13,382人〕</p> <p>○ 図書館まつり 各図書館</p>	未達成	統合
<p>③ 図書館ボランティアの育成</p> <p>読書サポーター養成講座は新型コロナウイルス感染症のため中止した。</p> <p>評価については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催等を検討する必要があることから改善とした。</p> <p>○ 読書サポーター養成講座</p> <p>○ 図書館友の会支援事業</p> <p>内容 図書館友の会7団体へ運営費補助</p>	未達成	改善

4 スポーツの振興に関する事務

(1) スポーツイベントの開催

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 南向きファミリー元気フェスタ！ ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [128 (申込者数) 人]	未実施	継続
② 口加駅伝競走大会 ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [41チーム・250人]	未実施	継続
③ 南島原市綱引き大会 ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [34チーム・373人] 【500人】	未実施	継続
④ 原城マラソン大会 ○ 第30回記念大会として準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症のため1年延期した。 評価については、第30回記念大会として実施することから拡充とした。 － [1,844人 (申込者数)] 【2,000人】	未実施	拡充
⑤ 小学生水泳教室 ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [201人]	未実施	継続
⑥ フィットネススクール ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [285人]	未実施	継続
⑦ 自然体験事業「ネイチャー」 ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [50人]	未実施	継続
⑧ マリンスポーツ教室 ○ 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、カヌー、ヨット、SUP等、南島原市の自然に触れ合いながらマリンスポーツ体験を行う教室を開催した。また、親子対象としたプログラムも取り入れ、親子が触れ合うきっかけ作りとなった。 7月26日(日)～8月20日(木) 計18回 248人[228人]	達成	継続
⑨ マリン・ア・ラ・カブーフェスタ ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [99人]	未実施	継続
⑩ 市民スポーツ大会 ○ 市体育協会の主催、並びに加盟団体の運営による市民スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症のため中止した。 ただし、市民スポーツ大会に替わる大会として、22競技中9競技が新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで代替大会を開催した。 8月2日(日)～10月25日(日) 666人[2,436人]	未達成	継続

⑪ スポーツ専門指導員育成講習会 ○ 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 － [22人] 【100人】	未実施	継続
---	-----	----

(2) スポーツ団体との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 南島原市体育協会との連携 ○ 現在、体育協会は22競技団体が加盟しており、スポーツ競技の普及・振興を図り、市民の体力向上と健康増進に寄与するために、事務局であるスポーツ振興課と体育協会が連携し、市民スポーツ大会に替わる代替大会の開催や県民体育大会への選手団の派遣等、市内競技スポーツの競技力の向上に取り組んだ。	概ね達成	継続
② 南島原市スポーツ推進委員会との連携 ○ 教育委員会とスポーツ推進委員会が連携することで、市内全体のスポーツ事業のスムーズな運営を行っているが、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの事業が中止となった。 また、スポーツ推進委員が中心となって取り組んでいる地区体育祭も、新型コロナウイルス感染症のため中止となったが、スポーツ推進委員を中心に、中止の判断がなされ、周知もスムーズに行うことができた。	概ね達成	継続
③ 総合型地域スポーツクラブとの連携 ○ TEAMひまわりは、幼児期からの運動能力・運動神経の向上を目的とした保育園・幼稚園を巡回する「からだ遊び教室」や「各種スポーツ教室」を主たる事業とし実施し、市事業の講師派遣や企画運営業務について委託を行った。 平成30年度から3年間、スポーツ振興協働事業「ひまわりキャラバン」として、学校の協力を得て小学生の新体力テスト等のデータを収集・分析し、専門家指導のもと体力向上に向けた指導プログラムの構築を行っている。 今後は、市内各学校や社会体育活動への導入に向けたプランニングを行っていく。 課題としては、スタッフの確保が難しいことや会員数が伸びていないことから、新しい事業展開を図る必要がある。	概ね達成	継続
④ 小学校社会体育活動支援 ○ 児童の健全な育成と体育・スポーツ活動の振興を図るため、児童で組織するクラブ活動に対して補助金を交付した。 34クラブ [42クラブ]	達成	継続

5 文化財の保護活用に関する事務

(1) 資料館等の維持・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 口之津歴史民俗資料館 ○ 口之津歴史民俗資料館収蔵品の燻蒸処理、修繕、施設ガイダンス（館長解説）評価については、分館に所蔵しているものを中心として、新しい企画展等を検討する必要があることから改善とした。 入館者数 4,091人〔4,195人〕	未達成	改善
② 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館 ○ 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館展示資料の整理並びに説明評価については、現在展示している出土品が、わかりにくい展示内容となっており、今後、新たに出土したものを中心に、年間を通した企画展等を検討する必要があることから改善とした。 入館者数 61人〔238人〕	未達成	改善

(2) 指定文化財の保護・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 指定文化財の保護管理 ○ 国指定・県指定・市指定文化財の保存管理に努める。特に国指定史跡の原城跡や日野江城跡においては、景観が損なわれることのないように配慮する必要がある。 原城跡と日野江城跡の史跡等を中心に、主として除草作業を実施した。 市内文化財の除草作業も定期的実施している。 ○ 慈恩寺キリシタン墓碑群説明板再設置の外、4件の案内板修繕等を実施した。	概ね達成	継続
② 指定文化財の巡回 ○ 指定文化財の巡回を行い、き損等の初期発見に努める。 県指定文化財：文化財巡視活動回数（年間）3回〔3回〕 市指定文化財：月1回加津佐から深江の主な文化財の巡回を兼ねて除草作業を実施した。	概ね達成	継続
③ 指定文化財の防災訓練 ○ 指定文化財の防災訓練を行う必要がある。 令和3年1月26日（火）に口之津歴史民俗資料館分館から出火したと想定して文化財防火訓練を実施した。	概ね達成	継続

(3) 埋蔵文化財の発掘調査

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 権現脇遺跡整理調査 ○ 国土交通省砂防事業に伴う発掘調査受託事業 赤松谷川1・2号導流堤嵩上げ工事に伴う発掘調査の整理調査を行った。	未達成	継続
② 諏訪地区本調査・整理調査・報告書刊行 ○ 県営ほ場整備に伴う発掘調査 ・ 出口遺跡 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第27集『出口遺跡』を刊行した。	達成	完了

<p>③ 見岳地区本調査・整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県営ほ場整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・養台寺跡 調査面積 1, 162㎡ 旧石器時代、縄文時代早期、縄文時代晩期、弥生時代後期、古代、中世の遺構・遺物を検出した。 ・野中B遺跡 調査面積 185㎡ 表土剥ぎを行い、遺物包含層上面まで検出した。 ・野中C遺跡 調査面積 16㎡ 表土剥ぎを行い、遺物包含層上面まで検出した。 ・東新堂原遺跡 調査面積 21㎡ 縄文時代晩期の遺物を検出した。 ・野中A遺跡 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第25集『野中A遺跡』を刊行した。 ・石原遺跡 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第26集『石原遺跡』を刊行した。 	達成	継続
<p>④ 見岳地区内容確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県営ほ場整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・新堂原遺跡 調査面積 16㎡ 縄文時代後・晩期、弥生時代後期、中世の遺構・遺物を検出した。 	達成	継続
<p>⑤ 内野貝塚整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市営道路改良工事に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・内野貝塚 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第23集『内野貝塚（第一分冊）』を刊行した。 	達成	継続
<p>⑥ 原尾地区整理調査・報告書刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県営ほ場整備事業に伴う発掘調査 検出した遺構・遺物の整理調査を実施し、南島原市文化財調査報告書第24集『野中遺跡』を刊行した。 	達成	完了
<p>⑦ 木場軒野遺跡確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業用ハウス建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・木場軒野遺跡 調査面積 16㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 	達成	完了
<p>⑧ 彦原遺跡確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業用ハウス建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・彦原遺跡 調査面積 12㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 	達成	完了
<p>⑨ 松平信綱陣跡（仮称）試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市営多目的運動広場建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画地 調査面積 16㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 	達成	完了
<p>⑩ 東大窪遺跡試掘・確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道西広野大窪原線道路改良事業に伴う発掘調査 	達成	完了

<ul style="list-style-type: none"> ・東大窪遺跡 調査面積 12㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 		
<p>⑪ 永瀬貝塚確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南島原市自転車歩行者専用道路整備事業に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・永瀬貝塚 調査面積 8㎡ 遺構面・遺物包含層ともに確認されなかった。 	達成	完了
<p>⑫ 原城跡隣接地試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市営世界遺産ガイダンス施設建設に伴う発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画地 調査面積 209㎡ 令和元年度の継続調査を実施。幕府軍の陣に関わる遺構等は確認されなかった。 	達成	完了
<p>⑬ 原城跡二ノ丸内容確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学術調査 <ul style="list-style-type: none"> ・二ノ丸地区 調査面積 293.2㎡ 17世紀初頭から前半頃の遺構・遺物包含層を確認した。 	達成	継続

(4) 文化財保護審議会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 文化財等調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次年度における指定文化財等の整備候補箇所検討 次年度における指定文化財等の説明板の改修等について、箇所の選定や内容について審議した。 	達成	継続

(5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
<p>① 原城跡保存活用計画の策定（2か年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原城跡の本質的な価値とその構成要素を明確化し、現状と課題を整理しながら史跡全域あるいはその周辺の保存活用方策について策定した。 	達成	完了

6 世界遺産推進に関する事務

(1) 世界遺産の価値に関する適切な情報提供

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 情報発信を図るためのパンフレット等の作成 ○ パンフレット等の配布 来訪者が原城跡の価値を理解するためのパンフレット（現地版）を総合案内所で配布している。	未達成	継続
② 南島原市世界遺産情報発信システム『有馬歴史ガイド』と『原城VR』の活用及びシステムの拡充 原城跡総合案内所でVR（当時の原城本丸を再現したイメージ映像）の貸し出しを行い世界遺産としての価値の周知を行った。 令和2年度 貸出人数：795人 [2, 685人]	未達成	継続
③ 原城跡の来訪者数及び利便性の確保 ○ 原城跡来訪者数 原城跡本丸に来訪者カウンターを設置し来訪者数のカウントを行っている。 令和2年度来訪者数：25,956人 [35,912人]	未達成	継続
○ 来訪者用レンタサイクルの貸し出し数 原城温泉真砂と有馬キリシタン遺産記念館で来訪者の移動利便性の確保を目的として、レンタサイクルの貸し出しを行っている。 令和2年度 貸出件数：1,109件 [2,889件]	未達成	継続

(2) 世界遺産アクションプランに基づく取組の展開

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 南島原市世界遺産市民協働会議による取組 ○ 清掃活動の実施 原城跡で市民協働会議主催の清掃活動を実施した。 （11月 約40人程度参加）	概ね達成	継続
○ 市民劇「世界遺産物語」動画制作 7月にコレジヨホールで上演する予定で進めていた市民劇「世界遺産物語」については、コロナウイルス感染症の影響により、一旦中止することとなったが、感染対策を行いながら実現できる方法を模索した結果、演劇としての上演ではなく、撮影を行った動画をYouTubeで公開することで上演に替えることとした。南有馬小学校の6年生の児童の協力を得て、撮影を行い、3月下旬に動画が完成し、YouTubeで公開を行った。合わせて、DVDの制作を行い、小学校や図書館等に配布した。	達成	完了
② 世界遺産啓発グッズの活用 世界遺産の啓発のため、市内で実施される会議などで、これまでに作成したパンフレットやグッズを配布した。	未達成	継続
③ 世界遺産推進のための事務 ○ 世界遺産影響評価 世界遺産保全のための取組の一つである世界遺産影響評価を長崎県と連携して実施した（多目的運動広場整備事業ほか）。	達成	完了

<p>○ モニタリングの実施及び定期報告準備</p> <p>2022年の世界遺産委員会に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の保全状況が報告されることから、保存対象となる箇所などのモニタリングを行い、保全状況報告書の作成を行った。</p>	<p>達成</p>	<p>継続</p>
<p>○ 関係自治体との連携</p> <p>長崎県や関係県市町と連携し、世界遺産の保全や普及啓発などの取組を実施した。</p>	<p>達成</p>	<p>完了</p>